

開催日：令和6年2月5日（書面審議）

出席委員：（承諾書提出者 委員13名中13名）

星野和實会長、山崎弘道委員、畠山和男委員、黄淳一委員、秋山賢一委員、間渕文彦委員、山角駿委員、大塚ゆかり委員、千野由貴子委員、越水眞澄委員、岡村昌典委員、雨宮秀樹委員、神吉まゆみ委員

議 事：

1. 次期「甲府市障がい者福祉計画」の素案について（審議）

事務局：次期「甲府市障がい者福祉計画」について、甲府市障がい者福祉計画（令和6年度～令和8年度）策定経過、甲府市障がい者福祉計画（概要版（案））、甲府市障がい者福祉計画（素案）などの資料を用いて、その内容である「計画の策定経過」、「計画策定の目的」、「計画の期間」、「障がいのある人の現状と推移」、「第5次健やかいきいき甲府市プランと甲府市障がい者福祉計画」、「甲府市障がい者福祉計画と施策体系」などについての説明を行い、各委員から書面にて承諾を得た。

承諾に付された意見

A 委員： 計画については計画部会の中でも発言させていただいているので方針や数値目標について新たな意見ということはありません。

今回の計画策定にあたっては主管課である障がい福祉課が中心となってまとめたものと思いますが、この計画実施にあたっては教育、就労や医療、防災と他分野他課との連携がより重要と感じています。

特に防災については本年元日の能登半島での地震のように、災害規模やインフラの復旧進捗次第で避難は長期化するのが現実です。まず初めに住民が避難する一次避難所の装備や備蓄に高齢者・障害者が必要とするものが備えられていますでしょうか。加えて令和5年度までの現行計画において全く手がつけられていない「避難行動要支援者個別計画」の作成について具体的にどう推進していくのかは甲府市における大きな課題だと思っています。

障害者はその心身の状況から逃げ遅れなどによって被災時に亡くなるケースが健康な方よりも多いのですが、今回の地震では関連死も通常の倍の数字の報告があると先日報道されております。阪神大震災、東日本大震災と大きな災害が起きている中で、行政や地域の取り組みから学び、減災していくことが出来るよう市内連携の強化と平時の備えをお願いするところです。

資 料：資料1 甲府市障がい者福祉計画（令和6年度～令和8年度）策定経過  
資料2 甲府市障がい者福祉計画（概要（案））  
資料3 甲府市障がい者福祉計画（素案）